

プレミックスK3

JASS 19 M-101 規格適合品

(大形床タイル張付け用、セメントモルタルの品質規準)

プレミックス K3 は、大型セラミック床タイルおよび石材を床に張りつける際、ストライパーと呼ばれる専用工具（成形装置）を使用することで均一かつ高品位な施工を実現する「CSP 工法」の施工に最適な高性能な粉末樹脂を配合したプレミックスタイプ（一材型）のポリマーセメントモルタルです。

プレミックスK3は二瀬産業株式会社の製品です。



専用工具（成形装置）



25kg紙袋

性質

CSP 工法用プレミックスモルタル	
粉末形（一材型ポリマーセメントモルタル）	
張付け可能時間（塗置き時間）	10 分以内
1 回 当 り の 塗 布 面 積	2 m ² 以内

用途

適用箇所	屋内外の床面
適用下地	大型セラミックタイル及び石材
適用タイル	モルタル・コンクリート

標準配合比

下 地	モルタル・コンクリート
粉 体	25 kg
水 道 水	約 5.3 ℓ

標準使用量

塗 り 厚	15 ~ 30 mm
練りあがり量	約 16.5 ℓ / 25 kg

タイルの厚さは 10 mm を標準とし、タイル仕上面を FL ± 0 mm とした場合、下地面は FL マイナス 20 mm が標準仕様です。下地精度 ± 5 mm です。

取扱い上の注意事項

- 指定用途以外に使用しないでください。
- 品種の異なる材料と混合しないでください。
- 4~35℃の環境で使用・保管してください。
- 気温が3℃以下になる場合は施工を避けてください。
- 直射日光の当たらない屋内に場所を定め、パレット等にて床から離して保管してください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 使用時は防じんマスクや保護手袋・保護眼鏡を着用してください。
- 水分と接触すると強いアルカリ性を呈しますので、肌荒れやカブレを起こすことがあります。直接皮フに触れないようにしてください。
- 作業時において、取扱い場所および作業場所は換気を行ってください。
- 使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、多量の水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合は、直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けてください。
- 皮フや衣服に付いた時は洗い落としてください。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるため、保管場所は食品と区別してください。
- 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。河川・湖沼・下水道などへ流入させないでください。
- ご不明な点は当社営業担当及び販売元にお問い合わせ頂くか、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 製造日より4ヶ月以上経過した製品は使用しないでください。製造日(ロットNo.)は袋表面に印字。

販売元：



Sekitou
株式会社石陶

【摂津営業所】

大阪府摂津市正雀本町 2 丁目 1-3-101
TEL:06-6170-8012

試験成績表

試験方法：JASS19 M-101 (大型床タイル張付用セメントモルタルの品質基準)

下記の試験結果は、試験方法によって定められた条件によって得られたデータであり、実際の現場での性能を保証しているものではありません。

性能項目	試験項目 [単位]	測定結果	規定	
力学特性	曲げ強さ [N/mm]	9.2	8.0以上	
	長さ変化 [%]	0.15	0.00~0.20	
	圧縮強さ [N/mm]	40.2	30以上	
	標準時の付着強さ [N/mm]	2.1	0.6以上	
	複合強度	破断荷重比 [%]	23	20以上
		浮き率 [%]	3 ^(※1)	10以下
耐衝撃性		1400mm割れなし	最大高さ1400mm以上を合格	
施工性	単位容積質量 [kg/ℓ]	1.82	1.80以上	
	保水率 [%]	88.4	80~95	
	軟度変化 [%]	2	±10	
	ぬれ性(モルタル付着率) [%]	95	80以上	
耐久性	付着強さ [N/mm]	冷熱繰り返し30サイクル後	2.3 界面破断なし	0.6以上、かつ下地との界面破断が生じないこと
	浮き	冷熱繰り返し30サイクル後	浮きなし	打音時に浮きが認められないこと

※1：張り付け時にクシ目のすき間を潰しきれなかった未接着部

使用方法



下地処理

施工可能な下地精度は±5mm以内です。これを外れる場合は、はつりもしくは補修を行なってください。下地表面の脆弱部分、汚れなどは、接着障害の原因になるのでサンディングなどで除去し、掃除機等で清掃してください。

吸水調整

市販のモルタル塗り用吸水調整材(固形分45%程度)を水道水で3~5倍に希釈し、刷毛等で下地にムラなく塗布し、乾燥させてください。

材料の混練

プレミックスK3(1袋:25kg)に対し水道水約5.3ℓを加え、モルタル用かくはん機等の機械器具で練混ぜてください。(練混ぜ時間の目安は、粉体を全部投入してから2~3分です。)

- ・練り混ぜ後は、夏期40分以内、冬期60分以内に使用してください。
- ・練り足しや水を加えての練り戻しは避けてください。



材料の塗付け

下地に一度しっかりとしごき塗りした後、重ねて所定の塗り厚まで塗りつけ、直ちに専用工具(成形装置)でクシ目を引いてください。

- ・一回の塗付け面積は2㎡以内としてください。

タイル・石材の張付け

タイルや石材などの裏面(接着面)にも扱き塗りを行ない、クシ目を引いてから出来るだけ素早く、最大でも20分以内(20℃の場合)にタイルを張付け、ゴムハンマー等の工具を使用して仕上レベルを調整しながら改良圧着張りを行ってください。

時々タイルを剥がし、タイル裏面への付着状態を確認してください。

モルタルの硬化を見計らい目地さらえおよびタイルの清掃をおこなってください。動かなくなったタイルを強引に動かすと剥離の原因になりますので注意してください。



養生

施工完了から3日以上は外力が加わらないように養生してください。

直射日光・強風・降雨・降雪をうけるおそれのある場合は、シート掛け等により養生してください。

目地詰めは3日以上経過してから行ってください。